

地域保健医療推進部における活動

看護師長 村山 昌子

新潟大学では、2003年に医学部附属病院と歯学部附属病院が統合となりました。それにより、内科と歯科の総合的な病院となり、高度先進医療を担う病院として、地域の医療機関や市町村等の福祉施設との連携をより一層進め、さらに患者サービスを充実させるために、新たに地域保健医療推進部が開設されました。

その業務内容は以下になります。

1. 地域医療連携

- ・ 退院支援
- ・ 地域医療機関との連携（逆紹介）
- ・ 大学病院の機能についての情報公開（患者様対象）
- ・ 地域医療機関への情報提供
- ・ 大学病院の専門医による地域医療機関への臨床上の支援（生涯教育）

2. 総合医療相談

- ・ 療養生活、転院や退院に伴う相談
- ・ 介護保険、社会福祉サービスの紹介および手続きのご案内
- ・ 口腔ケア、歯科相談

3. 口腔保健

- ・ オープンホスピタル化の推進（開放型病院）
- ・ 地域の歯科保健活動支援
- ・ 医科病棟に入院中の患者様およびご家族また退院患者様に対する、歯科相談・支援

医歯学総合病院の目標の一つに「地域連携を推進するとともに地域の医療水準の向上に貢献します」と掲げられています。その目標に向かい活動しているところです。その中で、現在私が担当しています、医科病棟に入院中の患者様およびご家族また退院患者様に対する、歯科相談・支援についての活動内容を紹介させていただきます。

2003年10月に内科と歯科が統合後、全病棟における口腔ケアの取り組みの現状と歯科相談・支援への需要を把握するため、各病棟看護師長へアンケート依頼を実施しました。それにより口腔ケアの取り組みの現状、相談希望内容や希望数等の情報を得ることができました。多忙な病棟も多く、口腔ケアに取り組む時間が少ないのでは無いか。と予想していましたが、口腔ケアの必要な方へは多忙な中でも実践されていることがわかりました。口腔ケアへの意識も高く、独自に研修会や学習会を設けて取り組んでいる病棟もありました。しかし、その実践方法に多少の不足があることもわかりましたが、実践方法の手法やポイントがつかめれば効果的な口腔ケアがおこなえると感じました。

その後、電動ブラシの紹介を兼ね各病棟をまわり、入院中の患者様やご家族、退院の患者様に対する歯科相談をお受けしていること、さらに看護師へは口腔ケアの実践指導の相談をお受けしていることをお伝えしながら伝道師のごとく歩きまわりました。看護師長会においても文書の配布を行いPRしています。

また地域保健医療推進部では、退院支援のための退院計画スクリーニング票を全入院患者様対象に記載を開始しました。これは退院支援を必要とした患者様に対し、地域の医療機関、訪問看護ステーション、ケアマネージャー、保健師との連絡窓口となり患者様の退院や転院に関する連絡調整を行ったり、介護保険の申請が必要な患者様には介護保険サービスや申請に関する説明やご案内を行っていくための共通資料です。

この退院計画スクリーニング票の中に口腔問題をとらえるための項目を設け、問題ありと提出さ

れた患者様を訪室し、口腔内診査や全身の情報収集を行っています。そこで歯科治療の必要性がある場合は歯科治療開始となりますし、口腔保清の問題であれば患者様やご家族へも保健指導を行います。また退院が近く、退院後の治療が可能と判断した場合には歯科医師より歯科医療機関へとご

紹介させていただきます。

以上が簡単な地域保健医療推進部の内容と私の活動内容です。まだまだ訪問数も少ない状態ですが、悲鳴をあげるほどの依頼数を半分期待しながら今日も地道に病棟へ訪室しています。

